資料１－１

令和4年度
決算説明資料
（第17期）

公立大学法人
名古屋市立大学

令和4年度決算の概要

（単位：百万円）

	区　分	R3年度	R4年度	増減	前年度比
	経常費用	77,811	83,862	6,051	108%
	業務費	76,223	82,187	5,964	108%
	教育研究経費	2,862	3,407	545	119%
①	診療経費	36,598	39,084	2,486	107%
	受託研究費等	1,253	1,365	112	109%
②	人件費	35,509	38,330	2,821	108%
	一般管理費等	1,588	1,675	87	105%
	経常収益	86,439	89,164	2,725	103%
	運営費交付金収益	9,666	9,579	△ 87	99%
	学生納付金収益	2,708	2,815	107	104%
③	附属病院収益	59,355	62,292	2,937	105%
	受託研究等収益等	1,364	1,514	150	111%
④	寄附金・補助金等収益	10,293	9,961	△ 332	97%
	研究関連収入	240	224	△ 16	93%
	その他	2,809	2,775	△ 34	99%
	経常損益	8,627	5,301	△ 3,326	61%
⑤	臨時損益	963	137	△ 826	14%
	目的積立金取崩額	51	71	20	139%
	当期総損益	9,643	5,510	△ 4,133	57%

（注）計数については、それぞれ切捨で表示しているため、合計と合致しないものがある。以下各表について同じ。

【ポイント】

（経常費用）　60億円余の増

①診療経費
・患者数が増加したこと等に伴う医薬材料費の増や光熱費の増等により2,486百万円の増

②人件費
・職員等が増加したことや、東部・西部の令和３年度の６月賞与について一部（894百万円）を名古屋市で負担したが、令和４年度は全額を法人で負担したこと等により2,821百万円の増

（経常収益）　27億円余の増

③附属病院収益
・診療単価の増加等により2,937百万円の増

④寄附金・補助金等収益
・緑市民病院・厚生院の市立大学病院化準備経費負担金等が増加したが、県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金等が減少したため332百万円の減

⑤臨時損益
・令和３年度は名古屋市から債権受入があったこと等により826百万円の減

令和4年度決算セグメント別の状況

（単位：百万円）

区　分	大　学			市大病院			東部医療センター			西部医療センター		
	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減	R3年度	R4年度	増減
経常費用	11,392	12,594	1,202	33,173	35,043	1,870	15,176	16,593	1,417	18,068	19,631	1,563
業務費	10,445	11,681	1,236	32,868	34,641	1,773	15,012	16,435	1,423	17,896	19,428	1,532
教育研究経費	2,620	3,239	619	159	80	△ 79	48	49	1	33	37	4
診療経費	－	－	－	19,268	20,290	1,022	7,288	8,023	735	10,041	10,769	728
受託研究費等	974	1,047	73	277	311	34	0	4	4	0	1	1
人件費	6,850	7,394	544	13,162	13,957	795	7,674	8,358	684	7,821	8,620	799
一般管理費等	947	912	△ 35	305	402	97	163	158	△ 5	171	202	31
経常収益	11,553	12,727	1,174	36,418	37,130	712	18,427	18,660	233	20,039	20,646	607
運営費交付金収益	6,156	6,050	△ 106	1,520	1,791	271	1,322	1,197	△ 125	667	538	△ 129
学生納付金収益	2,708	2,815	107	－	－	－	－	－	－	－	－	－
附属病院収益	－	－	－	29,523	30,521	998	13,560	14,274	714	16,271	17,497	1,226
受託研究等収益等	1,016	1,083	67	342	420	78	2	7	5	2	2	－
寄附金・補助金等収益	899	1,962	1,063	4,679	4,028	△ 651	2,858	2,551	△ 307	1,856	1,420	△ 436
研究関連収入	240	224	△ 16	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	531	590	59	352	368	16	683	628	△ 55	1,241	1,187	△ 54
経常損益	160	133	△ 27	3,244	2,086	△ 1,158	3,251	2,066	△ 1,185	1,971	1,014	△ 957
臨時損益	4	△ 5	△ 9	8	13	5	572	129	△ 443	377	0	△ 377
目的積立金取崩額	51	25	△ 26	－	26	26	－	9	9	－	9	9
当期総損益	216	153	△ 63	3,253	2,126	△ 1,127	3,823	2,204	△ 1,619	2,349	1,025	△ 1,324

令和4年度決算(大学)

(単位:百万円)

	区　分	大　学			
		R3年度	R4年度	増減	前年度比
	経常費用	11,392	12,594	1,202	111%
	業務費	10,445	11,681	1,236	112%
①	教育研究経費	2,620	3,239	619	124%
	受託研究費等	974	1,047	73	107%
②	人件費	6,850	7,394	544	108%
	一般管理費等	947	912	△ 35	96%
	経常収益	11,553	12,727	1,174	110%
③	運営費交付金収益	6,156	6,050	△ 106	98%
	学生納付金収益	2,708	2,815	107	104%
	受託研究等収益等	1,016	1,083	67	107%
④	寄附金・補助金等収益	899	1,962	1,063	218%
	研究関連収入	240	224	△ 16	93%
	その他	531	590	59	111%
	経常損益	160	133	△ 27	83%
	臨時損益	4	△ 5	△ 9	△ 125%
	目的積立金取崩額	51	25	△ 26	49%
	当期総損益	216	153	△ 63	71%

【ポイント】

(当期総損益)

153百万円の黒字で、前年度決算より63百万円の減

(経常費用)　12億円余の増

①教育研究経費

・光熱費の増や中央看護専門学校の統合準備経費の増等により619百万円の増

②人件費

・緑市民病院及び厚生院の市立大学病院化に向けた職員の増等により544百万円の増

(経常収益)　11億円余の増

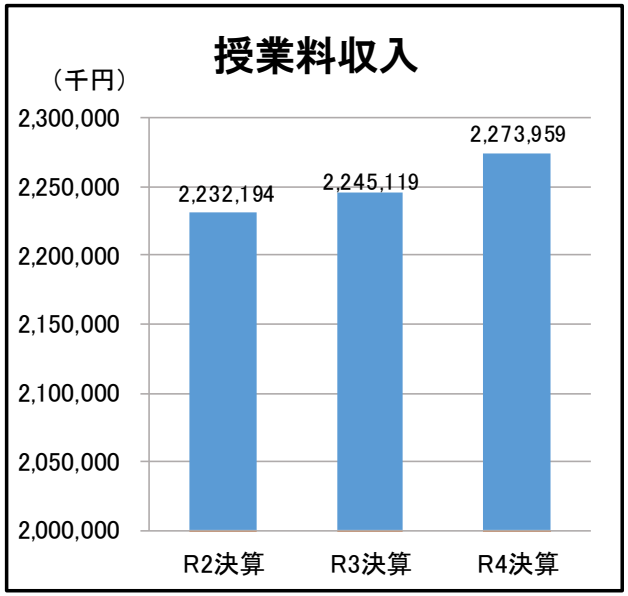
③運営費交付金収益

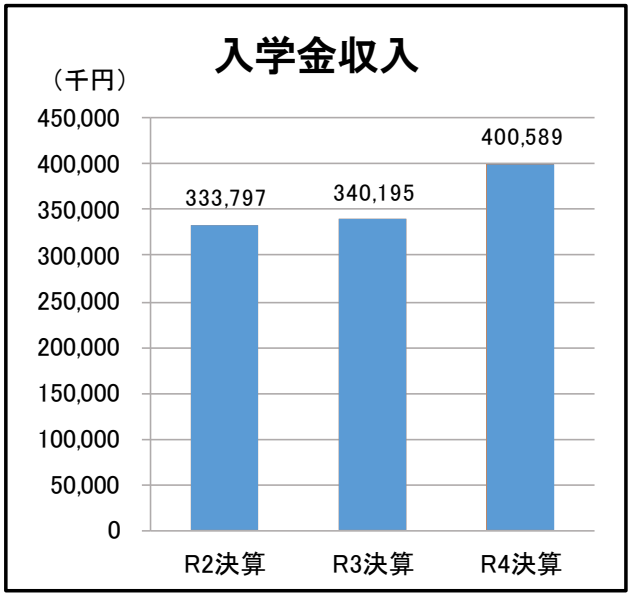
・令和３年度のPCB廃棄処理費用に係る運営費交付金の減等により106百万円の減

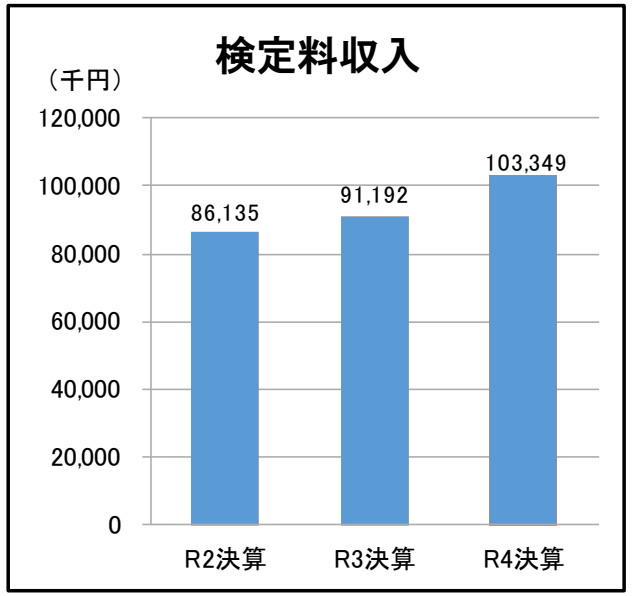
④寄附金・補助金等収益

・光熱費対策補助金、緑市民病院・厚生院の市立大学病院化準備経費負担金、中央看護専門学校の統合準備負担金の増等により1,063百万円の増

学生納付金収入(大学)





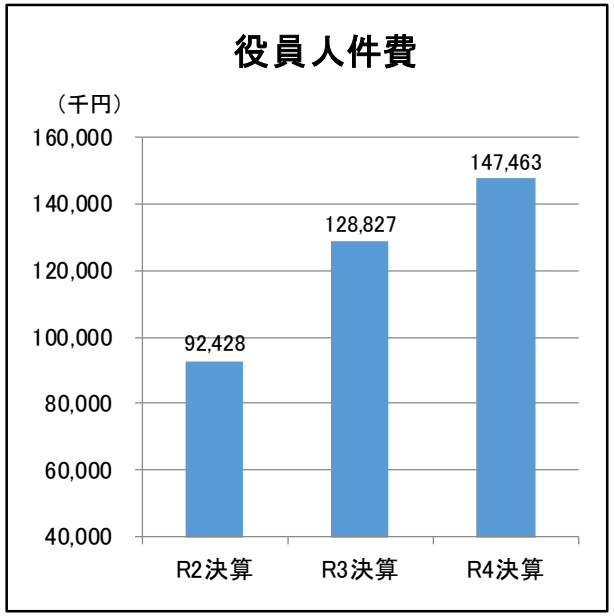


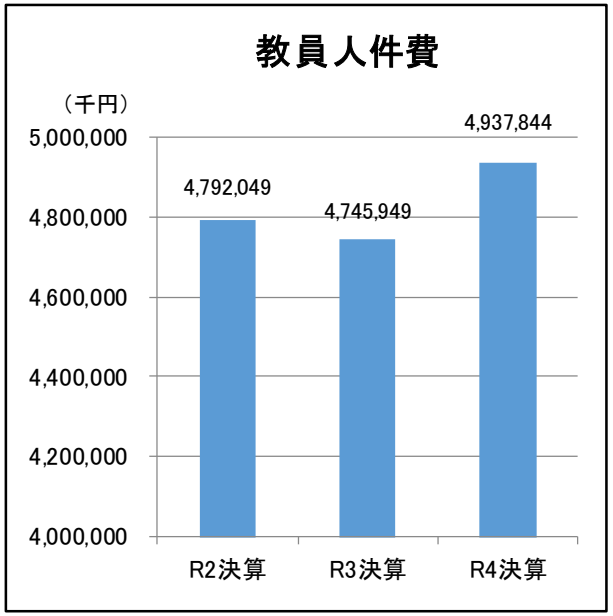
（単位：千円）

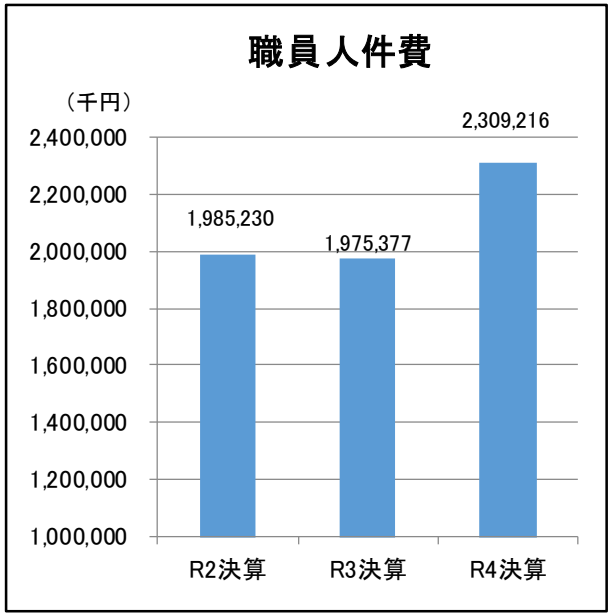
項　目	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比
授業料収入	2,232,194	2,245,119	2,273,959	28,840	101.3%
授業料減免	179,407	166,500	160,614	△ 5,886	96.5%
入学金収入	333,797	340,195	400,589	60,394	117.8%
検定料収入	86,135	91,192	103,349	12,157	113.3%
手数料収入	216	252	288	36	114.3%

【ポイント】
授業料収入：経済学部・薬学部・理学研究科の定員増等により学生数が増加したため
（経済学部＋9人　薬学部＋16人　理学部＋13人　理学研究科＋19人）
入学金収入：データサイエンス学部の新設や医学研究科・経済学部・看護学部の定員増等により入学者数が増加したため
（データサイエンス学部＋80人　医学研究科＋33人　経済学部＋31人　看護学部＋41人）
検定料収入：データサイエンス学部の新設等により志願者数が増加したため

人件費(大学)





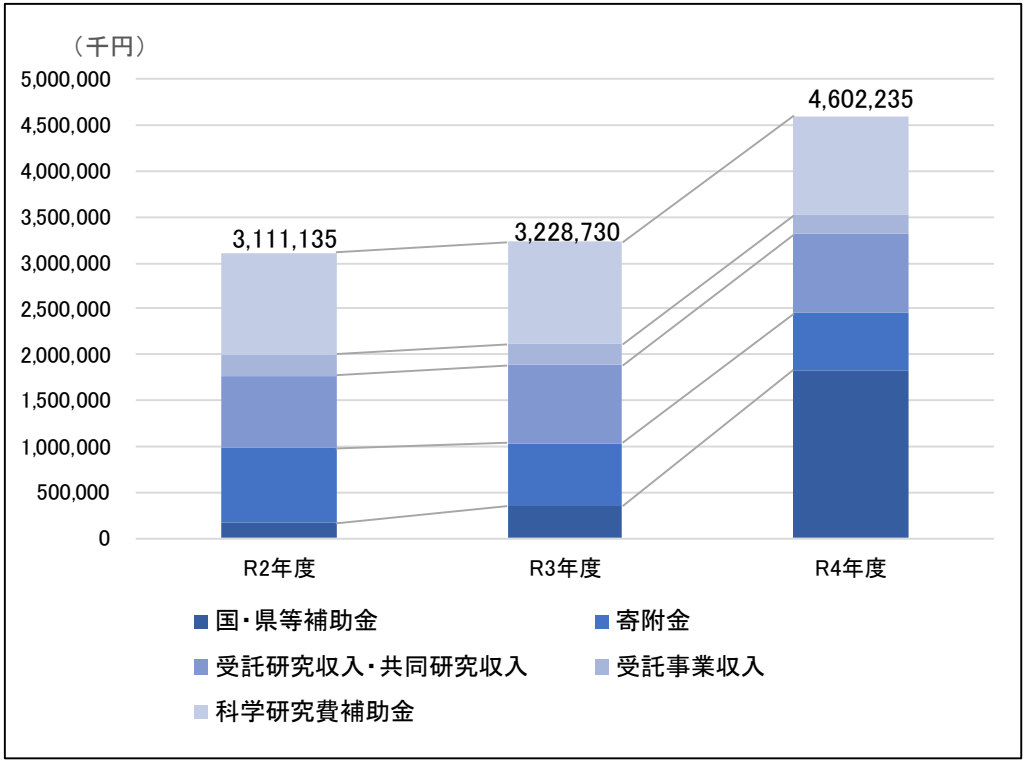


（単位：千円）

項　目	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比
役員人件費	92,428	128,827	147,463	18,636	114.5%
教員人件費	4,792,049	4,745,949	4,937,844	191,895	104.0%
職員人件費	1,985,230	1,975,377	2,309,216	333,839	116.9%
合　計	6,869,707	6,850,153	7,394,524	544,371	107.9%

【ポイント】
役員人件費：理事長・学長別置に伴い役員が増加（1名）したため
教員人件費：中央看護専門学校の統合等に向け、教員が増加（9名）したため
職員人件費：緑市民病院の市立大学病院化等に向け、職員が増加（34名）したため

補助金及び外部資金収入（大学）



【ポイント】　令和３年度からの増減額

○国・県等補助金
- 緑市民病院大学病院化準備負担金　＋874,000千円
- 光熱費高騰対策補助金　＋337,598千円
- 中央看護専門学校統合準備負担金　＋256,223千円
- 厚生院大学病院化準備負担金　＋ 31,726千円

○寄附金
- 学術奨励寄附金　△ 51,896千円
- 大学振興基金　△ 34,924千円
- 研究助成金　＋ 25,799千円

○受託研究収入・共同研究収入
- 受託研究収入　△ 69,615千円
- 共同研究収入　＋ 73,021千円

（単位：千円）

区　分	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比
国・県等補助金	162,131	360,083	1,835,944	1,475,861	509.9%
寄附金	825,967	674,270	615,548	△ 58,722	91.3%
受託研究収入・共同研究収入	782,161	853,665	857,071	3,406	100.4%
受託事業収入	229,901	228,997	211,628	△ 17,369	92.4%
科学研究費補助金	1,110,973	1,111,713	1,082,041	△ 29,672	97.3%
合　計	3,111,135	3,228,730	4,602,235	1,373,505	142.5%

令和4年度決算（市大病院）

（単位：百万円）

	区　分	市大病院			
		R3年度	R4年度	増減	前年度比
	経常費用	33,173	35,043	1,870	106%
	業務費	32,868	34,641	1,773	105%
	教育研究経費	159	80	△ 79	50%
①	診療経費	19,268	20,290	1,022	105%
	受託研究費等	277	311	34	112%
②	人件費	13,162	13,957	795	106%
	一般管理費等	305	402	97	132%
	経常収益	36,418	37,130	712	102%
③	運営費交付金収益	1,520	1,791	271	118%
④	附属病院収益	29,523	30,521	998	103%
	受託研究等収益等	342	420	78	123%
⑤	寄附金・補助金等収益	4,679	4,028	△ 651	86%
	その他	352	368	16	105%
	経常損益	3,244	2,086	△ 1,158	64%
	臨時損益	8	13	5	163%
	目的積立金取崩額	－	26	26	－
	当期総損益	3,253	2,126	△ 1,127	65%

【ポイント】

（経常費用）　18億円余の増

①診療経費
・患者数が増加したこと等に伴う医薬材料費の増加（503百万円）や、光熱費の増加（310百万円）などが影響し1,022百万円の増

②人件費
・看護師やメディカルスタッフ、臨床研究医の増員、退職手当の増、東西医療センターからの応援医師増に伴う応援診療手当の増等により795百万円の増

（経常収益）　7億円余の増

③運営費交付金収益
・長期借入金元利償還分が406百万円増加した一方、PCB廃棄処理費用が143百万円減少したこと等により271百万円の増

④附属病院収益
・コロナ休止病床の一部稼働等による入院延患者数の増加や、CAR-T細胞療法の開始等による入院診療単価の増加により998百万円の増

⑤寄附金・補助金等収益
・県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金の減少（715百万円）などにより651百万円の減

令和4年度決算（東部）

（単位：百万円）

	区　分	東部医療センター			
		R3年度	R4年度	増減	前年度比
	経常費用	15,176	16,593	1,417	109%
	業務費	15,012	16,435	1,423	109%
	教育研究経費	48	49	1	102%
①	診療経費	7,288	8,023	735	110%
	受託研究費等	0	4	4	－
②	人件費	7,674	8,358	684	109%
	一般管理費等	163	158	△ 5	97%
	経常収益	18,427	18,660	233	101%
	運営費交付金収益	1,322	1,197	△ 125	91%
③	附属病院収益	13,560	14,274	714	105%
	受託研究等収益等	2	7	5	350%
④	寄附金・補助金等収益	2,858	2,551	△ 307	89%
	その他	683	628	△ 55	92%
	経常損益	3,251	2,066	△ 1,185	64%
⑤	臨時損益	572	129	△ 443	23%
	目的積立金取崩額	－	9	9	－
	当期総損益	3,823	2,204	△ 1,619	58%

【ポイント】

（経常費用）　14億円余の増

①診療経費
・患者数が増加したこと等に伴う医薬材料費の増加（255百万円）や電子カルテを令和４年３月に更新したこと等に伴う減価償却費の増加（393百万円）などが影響し735百万円の増

②人件費
・令和３年度の６月賞与について一部（433百万円）を名古屋市で負担したこと等により684百万円の増

（経常収益）　2億円余の増

③附属病院収益
・救急受入件数及び手術件数の増加や急性期充実体制加算等による入院収益の増（480百万円）
・外来化学療法件数が増加したこと等による外来収益の増（234百万円）

④寄附金・補助金等収益
・県新型コロナウイルス感染症病床確保料補助金の減少（250百万円）等により307百万円の減

⑤臨時損益
・令和３年度には名古屋市から債権（365百万円）及び棚卸資産（212百万円）の譲渡があったこと等により443百万円の減

令和4年度決算（西部）

（単位：百万円）

	区　分	西部医療センター			
		R3年度	R4年度	増減	前年度比
	経常費用	18,068	19,631	1,563	109%
	業務費	17,896	19,428	1,532	109%
	教育研究経費	33	37	4	112%
①	診療経費	10,041	10,769	728	107%
	受託研究費等	0	1	1	－
②	人件費	7,821	8,620	799	110%
	一般管理費等	171	202	31	118%
	経常収益	20,039	20,646	607	103%
	運営費交付金収益	667	538	△ 129	81%
③	附属病院収益	16,271	17,497	1,226	108%
	受託研究等収益等	2	2	－	100%
④	寄附金・補助金等収益	1,856	1,420	△ 436	77%
	その他	1,241	1,187	△ 54	96%
	経常損益	1,971	1,014	△ 957	51%
⑤	臨時損益	377	0	△ 377	0%
	目的積立金取崩額	－	9	9	－
	当期総損益	2,349	1,025	△ 1,324	44%

【ポイント】

（経常費用）　15億円余の増

①診療経費
・患者数が増加したこと等に伴う医薬材料費の増加（542百万円）や光熱費の増加（184百万円）などが影響し728百万円の増

②人件費
・令和３年度の６月賞与について一部（461百万円）を名古屋市で負担したこと等により799百万円の増

（経常収益）　6億円余の増

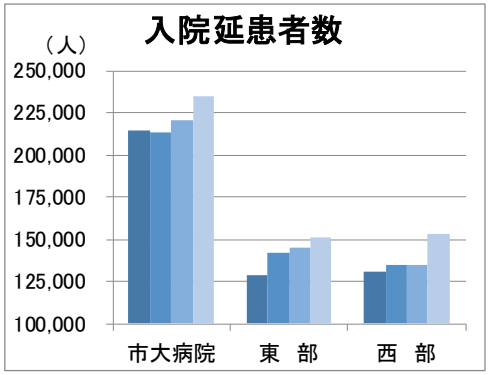
③附属病院収益
・手術件数が増加したこと等による入院収益の増（416百万円）
・外来化学療法件数が増加したこと等による外来収益の増（810百万円）

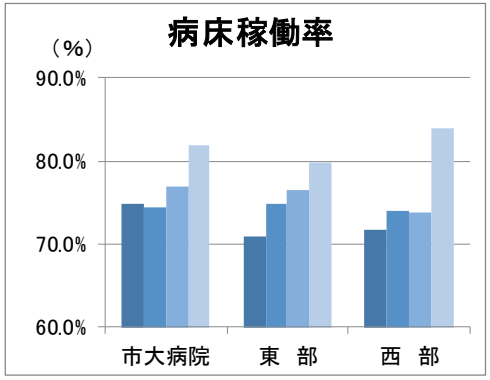
④寄附金・補助金等収益
・県医療従事者応援金の減少（91百万円）等により436百万円の減

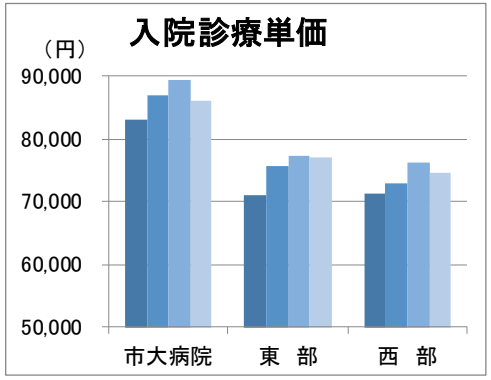
⑤臨時損益
・令和３年度には名古屋市から債権（173百万円）及び棚卸資産（203百万円）の譲渡があったこと等により377百万円の減

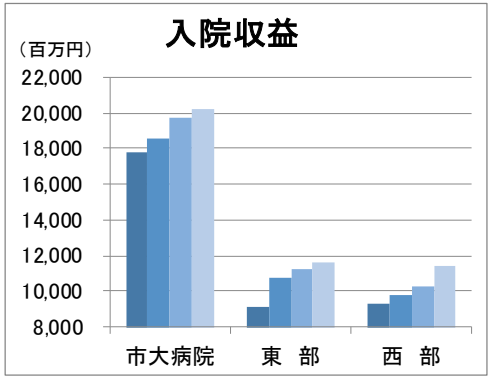
附属病院収益の状況（3病院）

（注）棒グラフは下表と同様左から、R2決算、R3決算、R4決算、R4予算の並びとなっている。

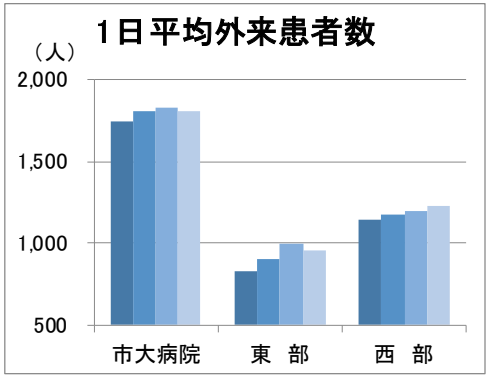


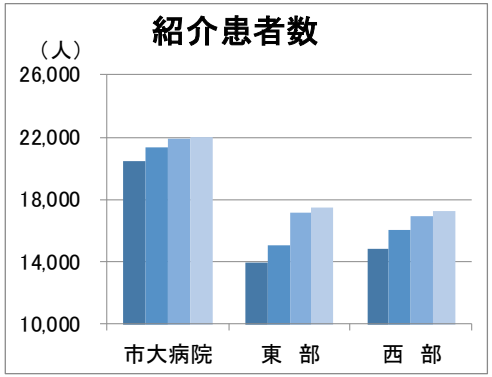


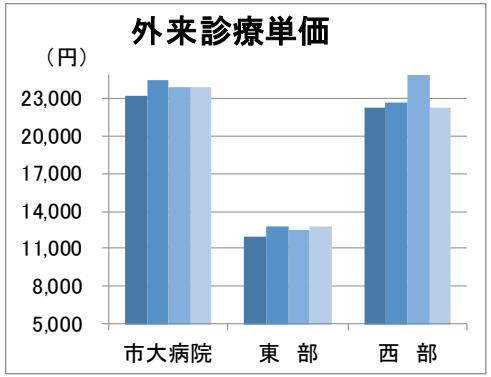


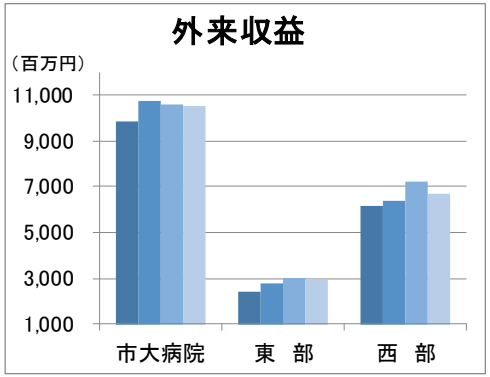


※入院収益のR4予算は入院収入









※紹介患者数のR4予算は年間目標数。また、外来収益のR4予算は外来収入

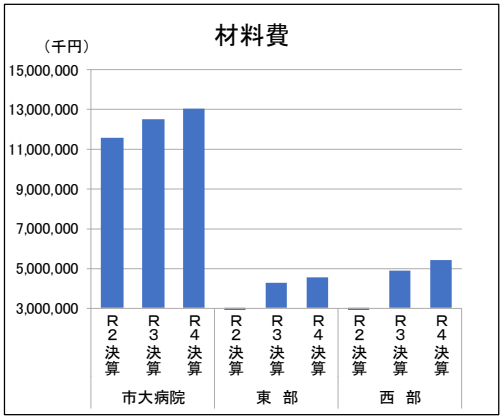
（単位：人）　（単位：円）　（単位：百万円）

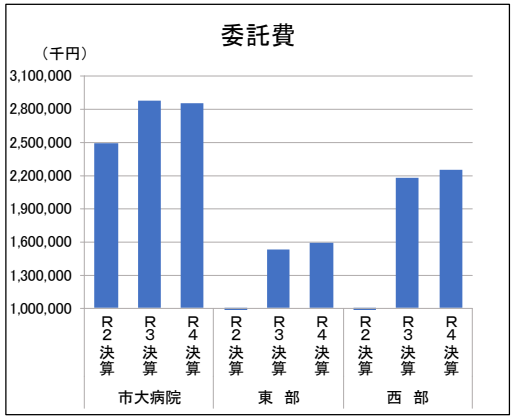
	入院延患者数				病床稼働率				入院診療単価				入院収益			
セグメント	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算
市大病院	214,671	213,830	220,885	235,250	74.8%	74.5%	77.0%	82.0%	83,114	86,972	89,396	86,200	17,842	18,597	19,746	20,258
東　部	129,087	142,226	145,438	151,475	71.0%	74.9%	76.6%	79.8%	70,988	75,661	77,293	77,006	9,164	10,761	11,241	11,664
西　部	131,004	135,046	134,748	153,300	71.8%	74.0%	73.8%	84.0%	71,393	72,877	76,127	74,516	9,352	9,841	10,258	11,423

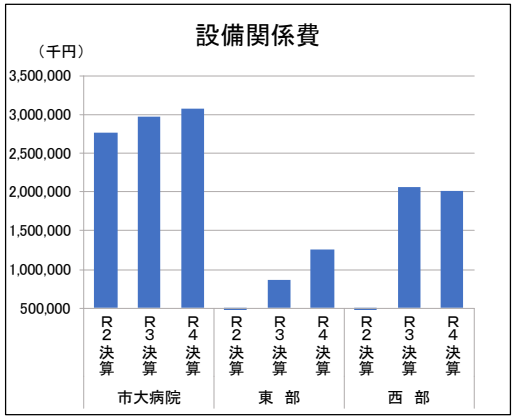
（単位：人）　（単位：人）　（単位：円）　（単位：百万円）

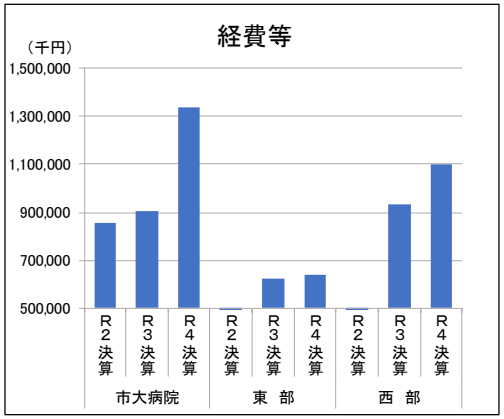
	1日平均外来患者数				紹介患者数				外来診療単価				外来収益			
セグメント	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算	R2年度	R3年度	R4年度	R4予算
市大病院	1,742	1,810	1,825	1,800	20,479	21,369	21,870	22,000	23,181	24,454	23,861	23,900	9,852	10,755	10,625	10,497
東　部	824	905	993	950	13,999	15,072	17,170	17,500	12,012	12,781	12,566	12,783	2,405	2,799	3,033	2,950
西　部	1,139	1,172	1,199	1,230	14,802	16,034	16,936	17,300	22,259	22,666	24,843	22,319	6,158	6,428	7,239	6,671

診療経費（3病院）









（単位:千円）

	市大病院				附属病院収益： 30,521,340		東部医療センター				附属病院収益： 14,274,470		西部医療センター				附属病院収益： 17,497,145	
区 分	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	対収益比率	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	対収益比率	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	対収益比率
材料費	11,607,976	12,527,822	13,031,448	503,626	104.0%	42.7%	－	4,267,936	4,530,474	262,538	106.2%	31.7%	－	4,862,396	5,400,905	538,509	111.1%	30.9%
委託費	2,492,034	2,869,384	2,853,768	△ 15,616	99.5%	9.4%	－	1,532,065	1,590,629	58,564	103.8%	11.1%	－	2,183,876	2,252,738	68,862	103.2%	12.9%
設備関係費	2,759,265	2,963,291	3,065,820	102,529	103.5%	10.0%	－	867,616	1,262,547	394,931	145.5%	8.8%	－	2,061,571	2,016,375	△ 45,196	97.8%	11.5%
経費等	854,969	908,235	1,339,755	431,520	147.5%	4.4%	－	621,168	639,672	18,504	103.0%	4.5%	－	933,366	1,099,904	166,538	117.8%	6.3%
診療経費計	17,714,246	19,268,735	20,290,793	1,022,058	105.3%	66.5%	－	7,288,788	8,023,323	734,535	110.1%	56.2%	－	10,041,213	10,769,923	728,710	107.3%	61.6%

※材料費の対附属病院収益比率は、税込金額で算出しているため、中期計画における数値目標とは一致しない

市大病院

【ポイント】

材料費：医薬品費の増 332,975千円

委託費：患者用駐車場の整備に伴う警備委託の減 △ 15,582千円

設備関係費：医療用機器減価償却費の増 167,341千円

経費等：光熱費の増 309,557千円

東 部

【ポイント】

材料費：医薬品費の増 217,061千円

委託費：看護補助者派遣契約の増 24,222千円
電子カルテ保守委託の増 13,390千円
薬品管理ｼｽﾃﾑ改修委託の増 12,279千円

設備関係費：電子カルテ更新に伴う減価償却費の増 393,064千円

経費等：光熱費の増 90,865千円

西 部

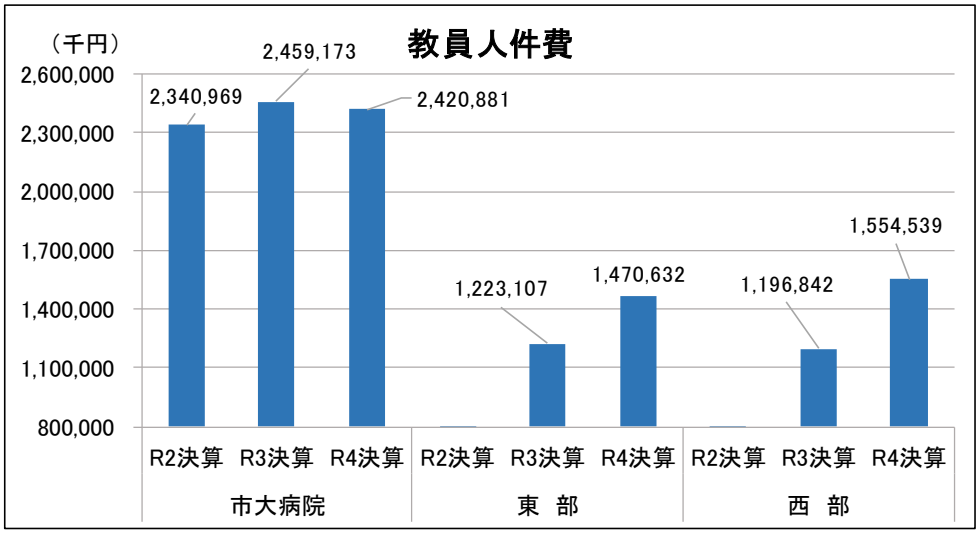
【ポイント】

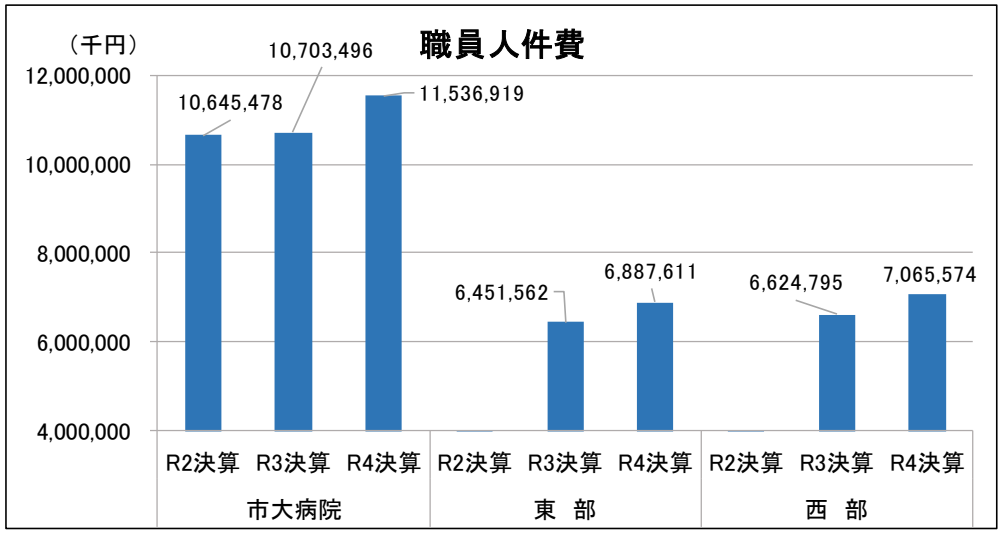
材料費：医薬品費の増 449,433千円

委託費：看護補助者派遣契約の増 66,301千円
薬品管理ｼｽﾃﾑ改修委託の増 11,175千円

経費等：光熱費の増 184,489千円

人件費（3病院）





（単位：千円）

	市大病院					附属病院収益： 30,521,340	東部医療センター					附属病院収益： 14,274,470	西部医療センター					附属病院収益： 17,497,145
項　目	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	対収益比率	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	対収益比率	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	対収益比率
教員人件費	2,340,969	2,459,173	2,420,881	△ 38,292	98.4%	7.9%	－	1,223,107	1,470,632	247,525	120.2%	10.3%	－	1,196,842	1,554,539	357,697	129.9%	8.9%
職員人件費	10,645,478	10,703,496	11,536,919	833,423	107.8%	37.8%	－	6,451,562	6,887,611	436,049	106.8%	48.3%	－	6,624,795	7,065,574	440,779	106.7%	40.4%
合　計	12,986,447	13,162,669	13,957,800	795,131	106.0%	45.7%	－	7,674,669	8,358,244	683,575	108.9%	58.6%	－	7,821,637	8,620,114	798,477	110.2%	49.3%

市大病院

【ポイント】

- 看護師増員に伴う給与・賞与の増　385,513千円
- ﾒﾃﾞｨｶﾙｽﾀｯﾌ増員に伴う給与・賞与の増　65,749千円
- 臨床研究医の増員に伴う給与の増　53,254千円
- 定年退職の増に伴う退職手当の増　114,685千円
- 応援診療手当の増　41,482千円

東　部

【ポイント】

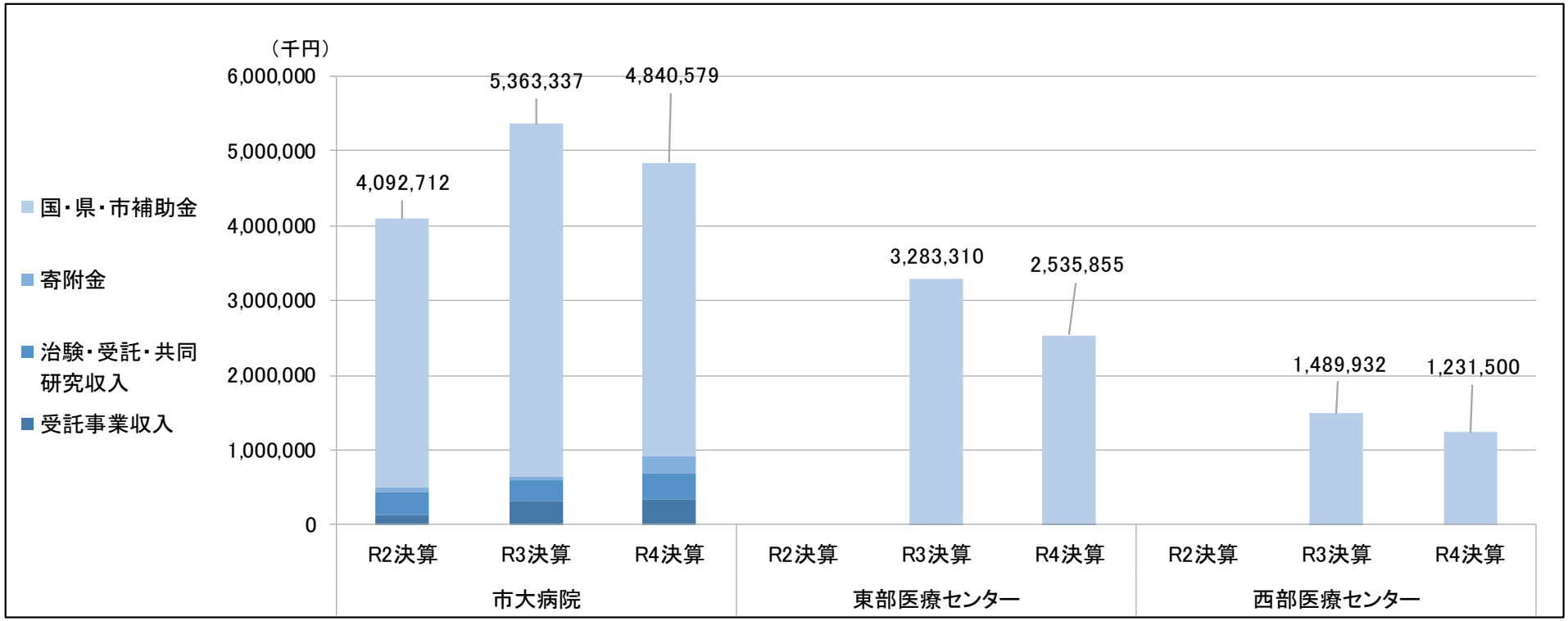
- 令和３年度の６月賞与について一部を名古屋市で負担したが、令和４年度は全額を法人で負担したことによる増（433百万円）

西　部

【ポイント】

- 令和３年度の６月賞与について一部を名古屋市で負担したが、令和４年度は全額を法人で負担したことによる増（461百万円）

補助金及び外部資金収入（3病院）



（単位：千円）

区分	市大病院					東部医療センター					西部医療センター				
	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比	R2年度	R3年度	R4年度	前年度増減	前年度比
国・県・市補助金	3,580,853	4,732,896	3,921,838	△ 811,058	82.9%	－	3,274,113	2,527,530	△ 746,583	77.2%	－	1,484,558	1,227,574	△ 256,984	82.7%
寄附金	74,159	39,671	232,843	193,172	586.9%	－	4,768	1,143	△ 3,625	24.0%	－	2,315	245	△ 2,070	10.6%
治験・受託・共同研究収入	299,779	279,358	349,601	70,243	125.1%	－	4,428	7,181	2,753	162.2%	－	3,059	3,680	621	120.3%
受託事業収入	137,920	311,411	336,297	24,886	108.0%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	4,092,712	5,363,337	4,840,579	△ 522,758	90.3%	－	3,283,310	2,535,855	△ 747,455	77.2%	－	1,489,932	1,231,500	△ 258,432	82.7%

比較貸借対照表

（単位：百万円）

区　分	R4.3.31 A	R5.3.31 B	増減 B-A	区　分	R4.3.31 A	R5.3.31 B	増減 B-A
資産				負債			
固定資産	109,364	108,493	△ 871	固定負債	23,340	26,150	2,810
有形固定資産	108,783	107,938	△ 845	資産見返負債	15,801	15,428	△ 373
土地	34,078	34,078	－	長期寄附金債務	674	797	123
建物	49,093	47,449	△ 1,644	長期借入金	5,584	8,596	3,012
構築物	489	1,007	518	退職給付引当金	467	541	74
工具器具備品	18,468	17,506	△ 962	長期リース債務	772	746	△ 26
図書	5,970	5,961	△ 9	長期資産除去債務	40	40	0
建設仮勘定	662	1,914	1,252	流動負債	19,478	21,112	1,634
その他	21	21	0	運営費交付金債務	757	1,090	333
無形固定資産	274	256	△ 18	寄附金債務	2,570	2,617	47
特許権	19	23	4	前受受託研究費等	727	971	244
ソフトウェア	184	148	△ 36	前受金	117	132	15
その他	70	83	13	科学研究費助成事業等預り金	565	567	2
投資その他資産	305	299	△ 6	預り補助金等	740	294	△ 446
投資有価証券	289	282	△ 6	一年以内返済予定長期借入金	1,270	2,077	807
破産再生更生債権等	107	144	37	未払金	11,610	12,220	610
徴収不能引当金	△ 107	△ 144	△ 37	未払消費税等	－	8	8
その他	16	16	0	預り金	439	495	56
流動資産	32,358	40,829	8,471	賞与引当金	172	198	26
現金及び預金	16,337	21,262	4,925	リース債務	506	438	△ 68
未収学生納付金収入	－	－	－	負債合計	42,818	47,263	4,445
未収附属病院収入	11,471	12,587	1,116	純資産			
徴収不能引当金	△ 122	△ 94	28	資本金	111,387	111,387	－
有価証券	－	1,000	1,000	資本剰余金	△ 24,675	△ 26,558	△ 1,883
棚卸資産・医薬材料	1,193	1,376	183	利益剰余金	12,243	17,288	5,045
未収金	3,359	4,560	1,201	その他有価証券評価差額金	△ 51	△ 57	△ 6
その他	119	138	19	純資産合計	98,903	102,060	3,157
資産合計	141,722	149,323	7,601	負債・純資産合計	141,722	149,323	7,601

【ポイント】

（資産）

○建物
減価償却費が新規取得額を上回ったこと等による減

○建設仮勘定
市大病院の救急・災害医療センター（仮称）建設工事等による増

○現金及び預金
補助金等収入及び附属病院収入の増等による増

（負債）

○長期借入金
東部医療センターの電子カルテシステムや３病院の医療機器の更新等にかかる借入金の増による増

（純資産）

○資本剰余金
当期減価償却による減

○利益剰余金
当期総利益による増

比較キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

区分	R3年度 決算 A	R4年度 決算 B	差引 B-A	B/A
Ⅰ 業務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	9,686	8,942	△ 744	92.3%
原材料、ｻｰﾋﾞｽの購入等による支出	△ 32,963	△ 37,678	△ 4,715	114.3%
人件費支出	△ 35,444	△ 38,519	△ 3,075	108.7%
その他の業務支出	△ 1,830	△ 1,804	26	98.6%
運営費交付金収入	10,053	10,151	98	101.0%
学生納付金収入	2,671	2,773	102	103.8%
附属病院収入	52,823	61,114	8,291	115.7%
受託研究等収入	1,656	1,758	102	106.2%
寄附金・補助金等収入	11,636	10,208	△ 1,428	87.7%
その他業務収入	779	869	90	111.6%
預り金科学研究費補助金等の増加	124	2	△ 122	1.6%
預り金等の増加	178	66	△ 112	37.1%
Ⅱ 投資活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	△ 3,019	△ 7,780	△ 4,761	257.7%
定期預金の預入による支出	△ 250	△ 3,250	△ 3,000	1300.0%
定期預金の払戻による収入	－	2,750	2,750	－
有価証券の取得による支出	－	△ 1,000	△ 1,000	－
有価証券の償還による収入	250	－	△ 250	－
有形固定資産の取得による支出	△ 3,791	△ 7,158	△ 3,367	188.8%
無形固定資産の取得による支出	△ 95	△ 32	63	33.7%
投資その他の資産の取得による支出	△ 10	△ 14	△ 4	140.0%
投資その他の資産の返還による収入	7	2	△ 5	28.6%
施設費による収入	869	920	51	105.9%
利子及び配当金の受取額	0	1	1	－
Ⅲ 財務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	353	3,263	2,910	924.4%
リース債務の返済による支出	△ 598	△ 538	60	90.0%
長期借入金の返済による支出	△ 933	△ 2,746	△ 1,813	294.3%
長期借入れによる収入	1,894	6,565	4,671	346.6%
利息の支払額	△ 8	△ 16	△ 8	200.0%
Ⅳ 資金増減額	7,020	4,425	△ 2,595	63.0%
Ⅴ 資金期首残高	9,066	16,087	7,020	177.4%
Ⅵ 資金期末残高	16,087	20,512	4,425	127.5%

【ポイント】

Ⅰ　業務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ
8,942百万円
診療収入等による収入が業務活動による支出を上回ったことによる資金の増

Ⅱ　投資活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ
△ 7,780百万円
東部医療センターの電子カルテシステム更新や市大病院の救急・災害医療センター（仮称）工事費の支払い等による資金の減

Ⅲ　財務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ
3,263百万円
長期借入金の返済により資金が減少となる一方で、東部医療センターの電子カルテシステム更新にかかる借入れ等による資金の増

Ⅳ～Ⅵ　令和４年度末の資金残高は20,512百万円で、前年度期末残高16,087百万円より4,425百万円増加した

利益(損失)の処理・目的積立金

令和4年度

(単位:百万円)

(1) 期首

積立金 1,027	大学	7
	市大病院	1,019
目的積立金 1,572	大学	358
	市大病院	1,214

※前中期目標期間繰越積立金を含む(以降同じ)

(2) 期中

①令和3年度未処分利益の処分

令和3年度未処分利益の計上により増加

積立金 1,115	大学	11
	市大病院	1,104
目的積立金 11,127	大学	570
	市大病院	4,383
	東部	3,823
	西部	2,349

②目的積立金の活用

区分	事項	執行額
教育	未来人材の育成	88
診療	病院の機能強化	203
一般管理	教職員の働き方改革	33
	福利厚生施設の整備等	139
計		464

中期計画で定めた剰余金の使途に活用
- 教育、研究、診療の質の向上
- 組織運営の改善

(セグメント別内訳)

セグメント	執行額
大学	234
市大病院	32
東部医療センター	9
西部医療センター	189
計	464

(会計上の内訳)

区分	仕訳	執行額
費用執行分	目的積立金取崩額	71
資産取得分	資本剰余金	393
計		464

(3) 期末

積立金 1,115	大学	11
	市大病院	1,104
目的積立金 10,662	大学	336
	市大病院	4,351
	東部	3,814
	西部	2,159

＋

当期未処分利益 5,510

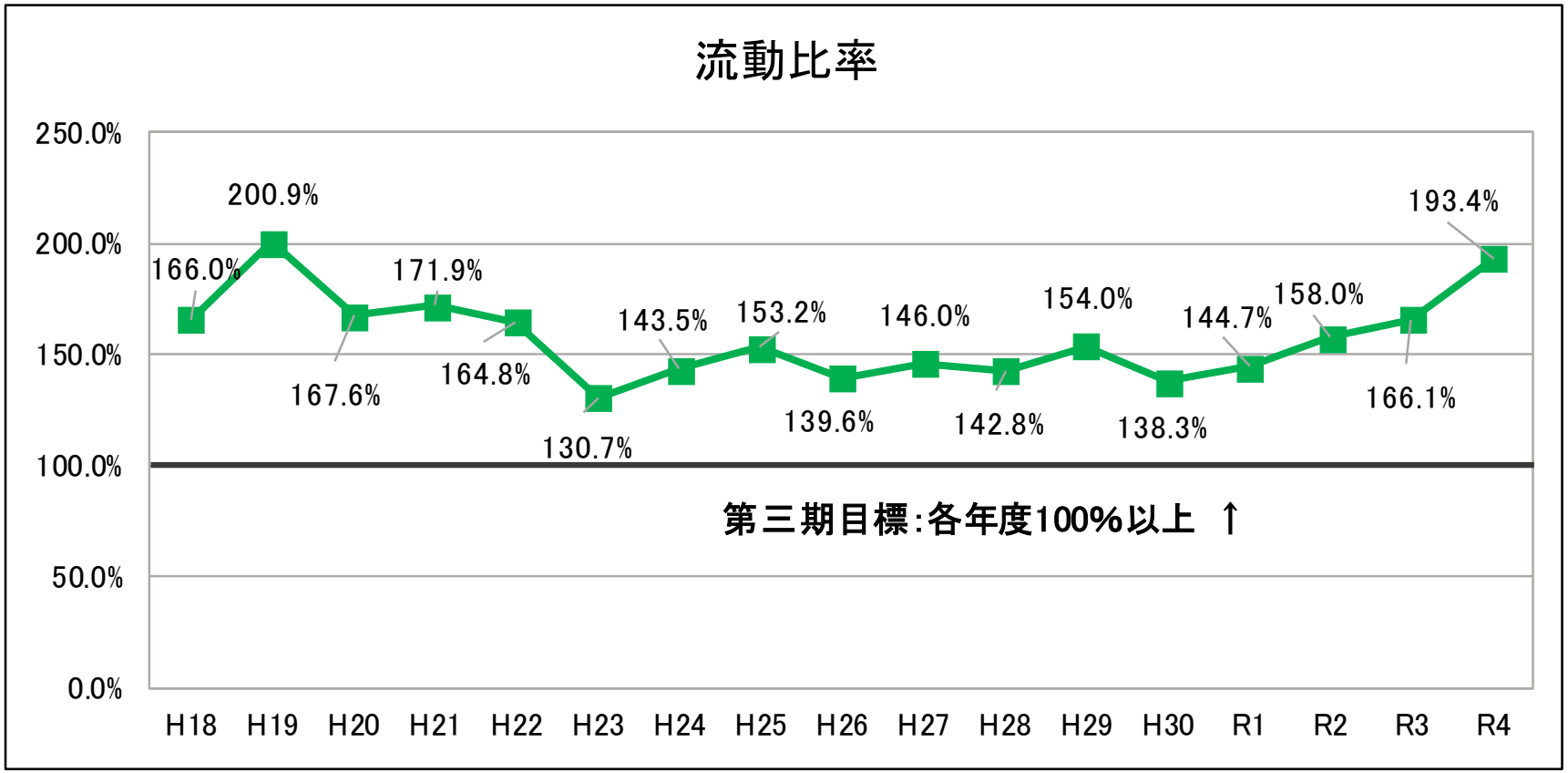
経営努力認定を受けた部分は目的積立金
それ以外は積立金へ令和5年度に計上予定

第三期中期計画における数値目標

区分	数値目標	目標	第三期									
			H30予算	H30決算	R1予算	R1決算	R2予算	R2決算	R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
法人	流動比率 （流動資産÷流動負債）	各年度 100%以上	－	138.2%	－	144.7%	－	158.0%	－	166.1%	－	193.4%
法人	当期総損益（単位：百万円） ※予算は年度計画の損益	各年度 プラス	△ 279	△ 87	△ 427	△ 62	△ 322	1,511	774	9,643	216	5,510
法人	一般管理費比率 （一般管理費÷業務費）	各年度 1.7%以下	1.4%	1.7%	1.7%	1.9%	1.6%	2.0%	1.6%	2.0%	1.8%	1.9%
大学	自主財源額（単位：百万円） ※運営費交付金等以外の財源	対前年度 プラス	5,245	4,960	5,409	5,001	5,443	5,168	5,683	5,508	6,968	6,652
市大病院	医薬材料費比率 （医薬材料費（税抜）÷診療収入）	H30～R5年度の6年間平均で37.0%以下	37.0%	37.5%	37.0%	37.6%	37.0%	38.0%	37.0%	38.7%	37.0%	38.9% (38.2%)
東部		R3～5年度の3年間平均で28.6%以下	－	－	－	－	－	－	27.2%	27.6%	28.5%	27.8%
西部		R3～5年度の3年間平均で29.7%以下	－	－	－	－	－	－	27.7%	26.4%	28.1%	27.4%

（注）市大病院の医薬材料費比率の括弧内数値は、CAR-T細胞療法にかかる金額を除外した比率

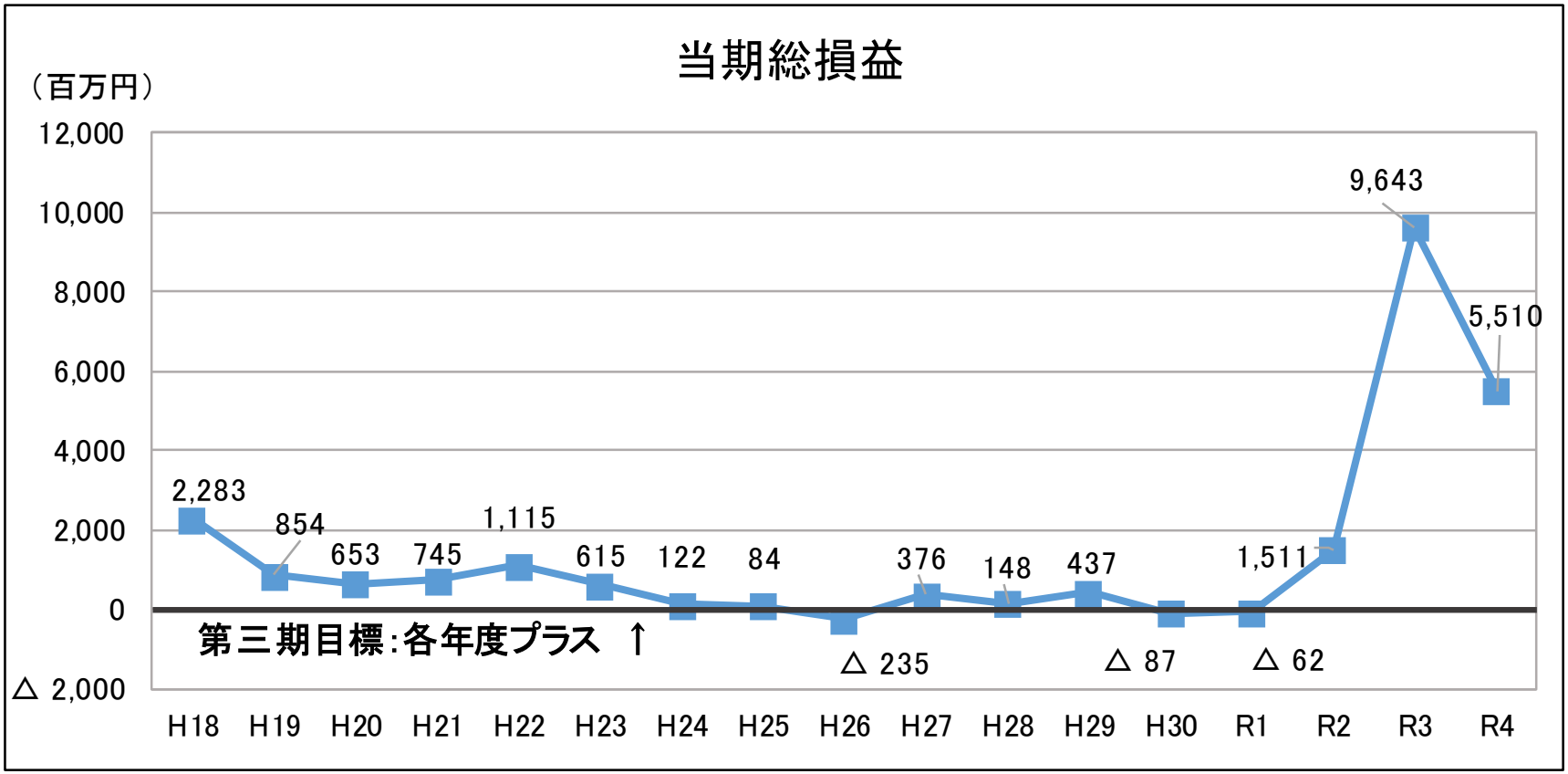
財務指標の推移(①流動比率)



流動比率 ＝ 流動資産 ÷ 流動負債

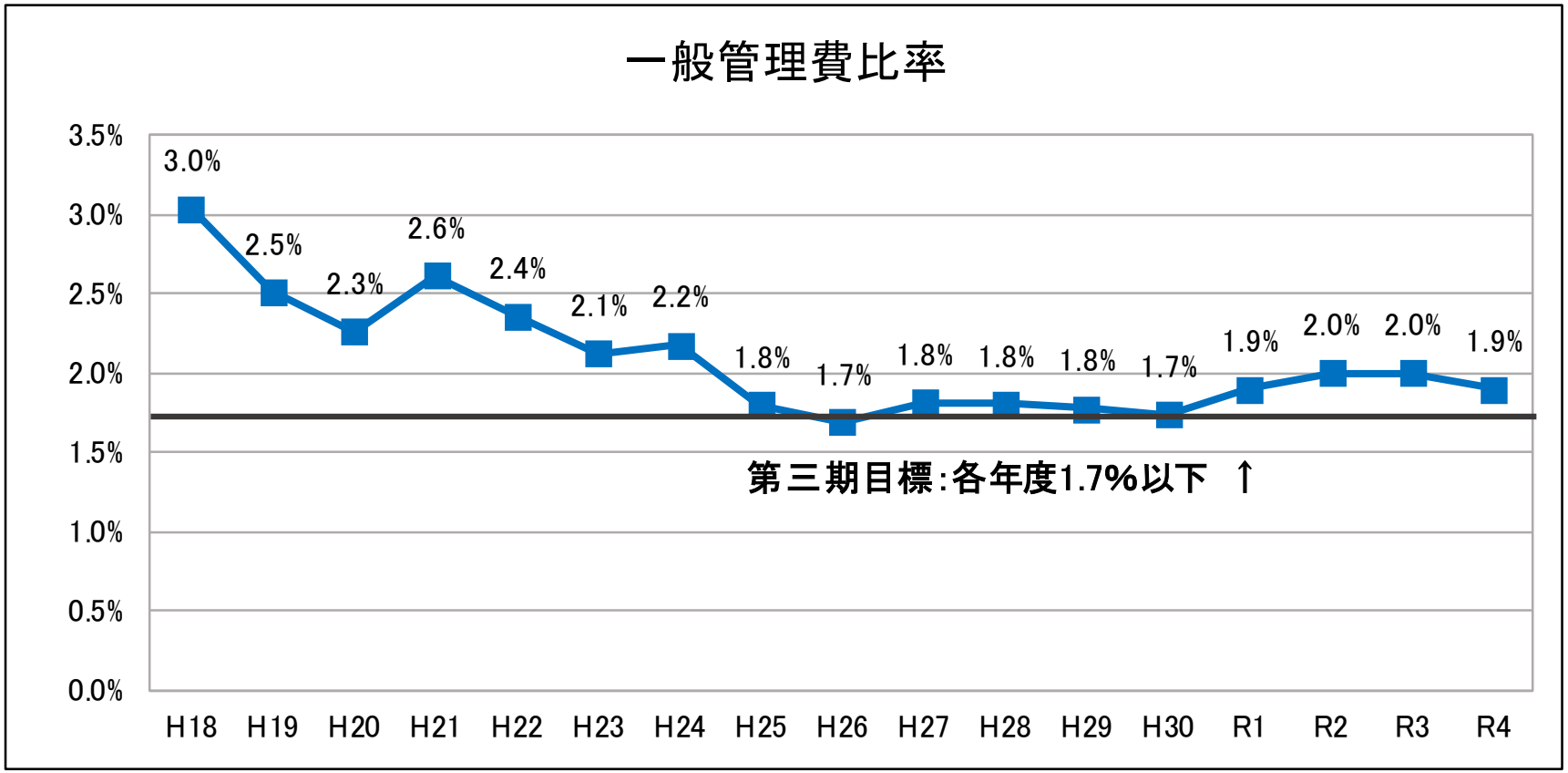
【ポイント】
診療収入の増や補助金等の獲得等による現金・未収金の増により、193.4%となった。

財務指標の推移（②当期総損益）



【ポイント】
診療収入等の収入確保に努めた結果、令和４年度損益は5,510百万円となった。

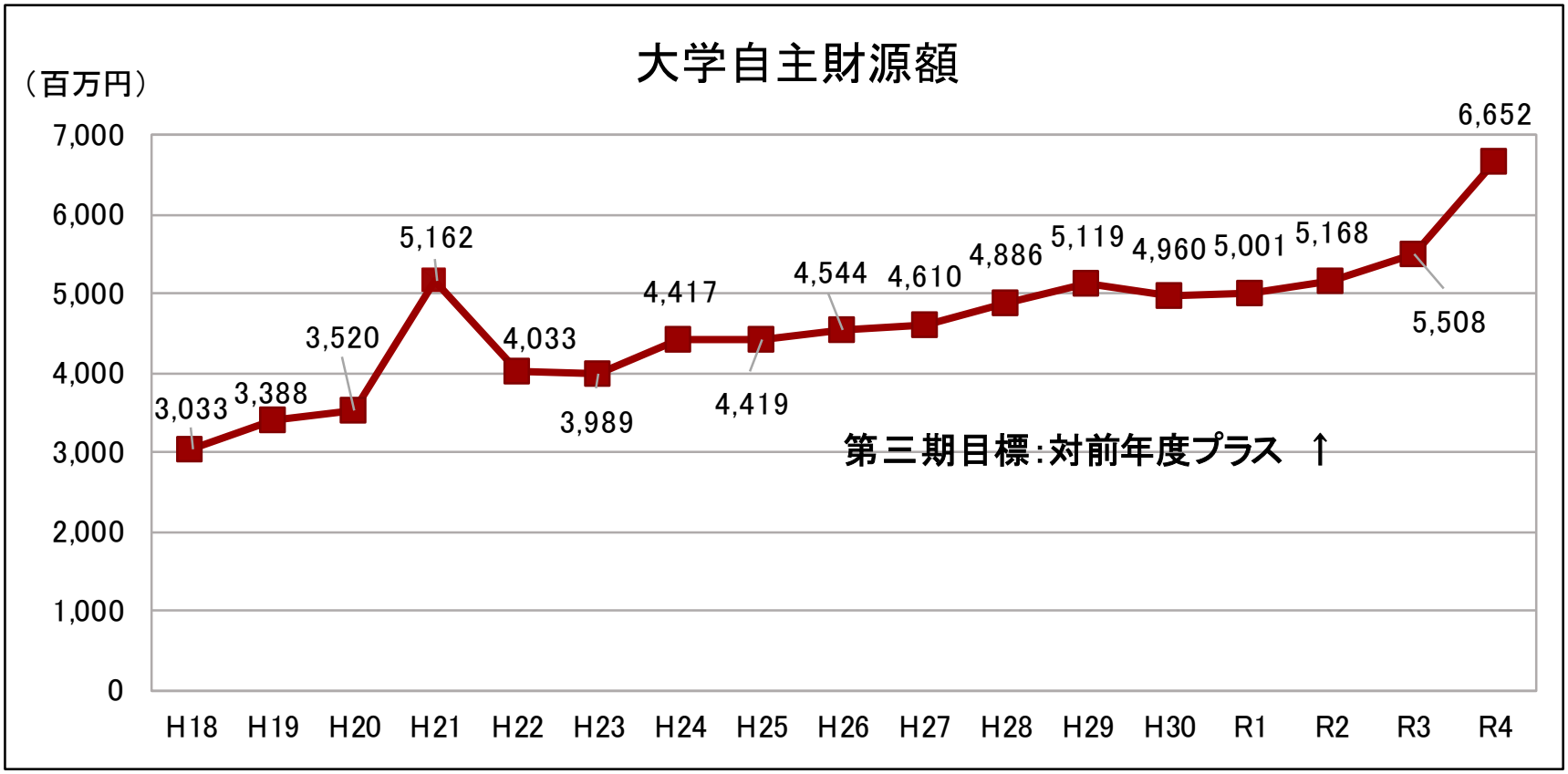
財務指標の推移（③一般管理費比率）



一般管理費比率 ＝ 一般管理費 ÷ 業務費

【ポイント】
　緑市民病院の大学病院化に向けた準備経費の影響等により、一般管理費比率は1.9%となり目標は達成できなかった。

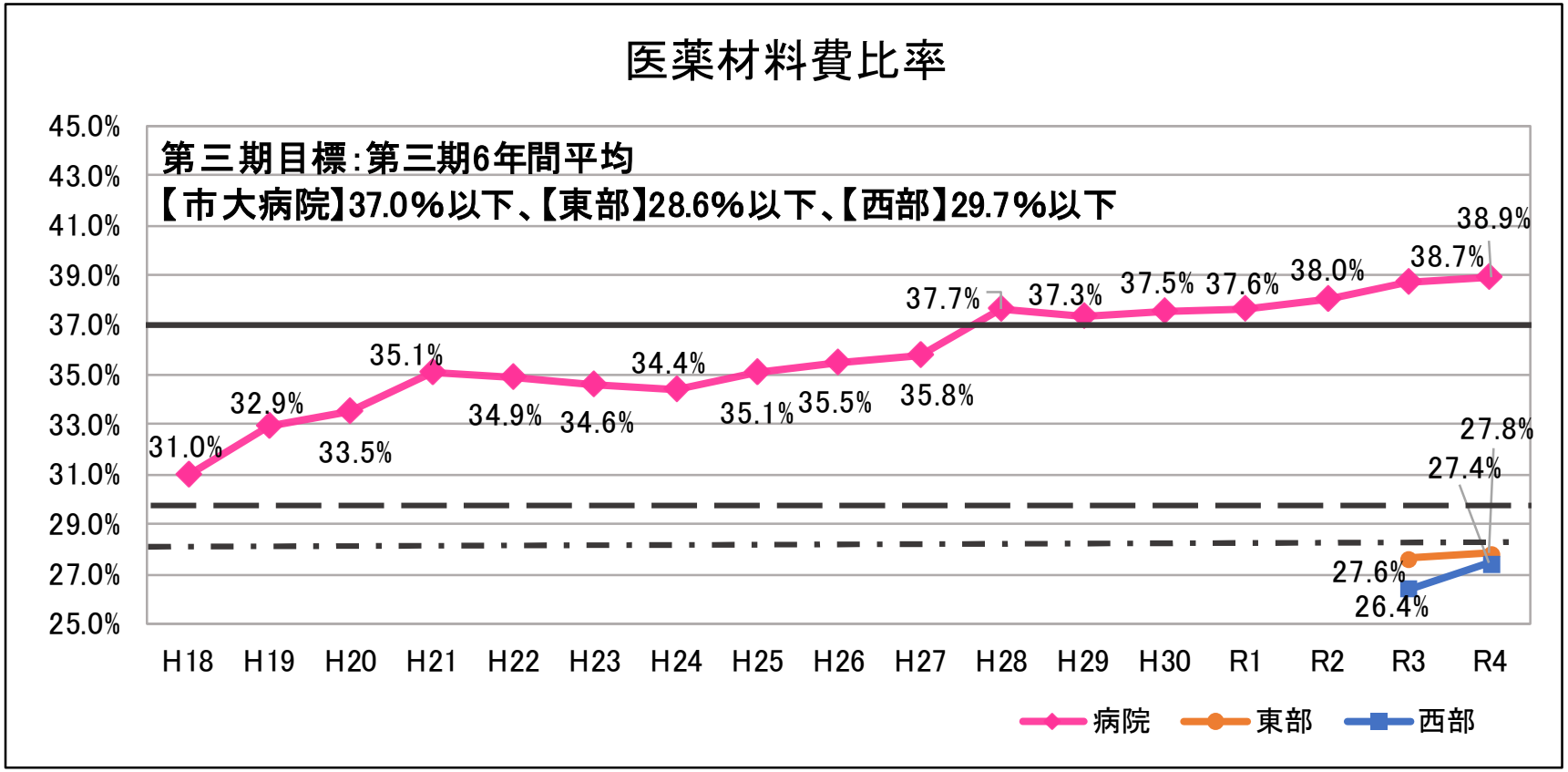
財務指標の推移(④大学自主財源額)



大学自主財源額＝学生納付金収入＋雑収入(国・県・市補助金等)＋受託研究収入等

【ポイント】
名古屋市からの負担金や学生納付金収入等の増により、対前年度プラスとなった。

財務指標の推移（⑤医薬材料費比率）



医薬材料費率＝医薬材料費(税抜)÷診療収入

【ポイント】
３病院での共同購入について対象品目の拡大を行い契約金額の削減に努めたが、市大病院においてはCAR-T細胞療法の開始に伴う医薬品費の増が影響し、前年度より0.2ポイントの増加となった（CAR-T細胞療法の影響を除くと38.2%となり、前年度より0.5ポイントの減少）。なお、東部・西部医療センターにおいては目標を達成した。